

四十四田ダムの魚のへい死に関する情報(第3報・終報)

2月7日に盛岡市内の四十四田ダム直下流で発見されたフナ及びコイなどのへい死について、その後、ダム貯水池周辺の巡視や水質調査を継続して実施してきましたが、水質調査の結果には異常はなく、また、ダム湖面の解氷後の水面上にもへい死した魚はありませんでした。

今後は、通常の巡視体制とします。

【これまでの状況】

発生状況

- ・発生場所：盛岡市内下厨川（四十四田ダム直下流）
- ・発生日時：平成29年2月7日 13:30発見
- ・数量：約300匹

対応状況

- 1, 2月10日、岩手県内水面水産技術センターでのへい死した魚の検査結果は、コイヘルペスや感染症は陰性でした。
- 2, 四十四田ダムでは、水質調査を継続的に実施してきましたが、いずれも異常はありませんでした。
- 3, ダム周辺の巡視を継続し、ダム湖面の解氷後に水面を確認しましたが、水面にはへい死した魚はありませんでした。
- 4, 今回の事案について、魚類の専門家である河川水辺の国勢調査アドバイザーに意見を伺っており、「本件は、水温の低下に伴い、温かい場所を探して魚が放流口へ大量に集まることにより酸欠になったと思われる。」との助言をいただいております。

※1：国土交通省等で実施している河川・ダムの動植物類の調査

【お願い】

- ・四十四田ダム周辺で魚のへい死を発見した場合は、下記の問い合わせ先へ情報提供をお願いします。また、へい死した魚は、絶対にダム湖外への持ち出しは行わないようお願いいたします。

北上川ダム統合管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

※発表記者会：岩手県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所
副 所 長 山田光雄
管理第二課長 峠館秀男
盛岡市下厨川字四十四田1 TEL 019-643-7831